

① 学習指導案

プログラム	No.11 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全50時間)	まちと生きる
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場所によって地域・自然・景観のよさが異なることに気づく。</li> <li>○自分の暮らす地域と、訪れた場所の地域・自然・景観との違いを知る。</li> <li>○自分のまち（地域）のよさについて、友達の考え方や見方に違いがあることを知る。</li> <li>○情報収集能力を身につけ、情報を効果的に伝えていく方法を体験する。</li> <li>○まちのよさを活かしていくために必要なことを話し合う。</li> </ul>
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域と私の関係を考え、地域の課題等を考える。</li> <li>2 自治会長へインタビューし、自分の思いと地域の思いを合わせ、地域を見つめ直す。</li> <li>3 他地域を訪れ、体験や取材をし、自分の地域にも活かせることをまとめる。</li> <li>4 「フラワーパーク」を創り、クリーン作戦を行う。</li> <li>5 地域の景観や景観を守るためのポスター・パンフレットを制作し、地域の景観や地域のために活動すること、地域の人と交流するよさを表現する。</li> <li>6 今後も活動を継続していくための方策を話し合う。</li> <li>7 自分の今後の地域での生き方について考える。</li> </ol>
参考資料	
準備品	・ iPad, 記録用紙, 地域地図, 花, 土, プランター, 軍手, 掃除用具
実施場所等	教室, 特別活動室, 上越・中越地方（調べる地域）, 近隣公園（3か所）

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 ～ 7 8	○地域を探検し、地域のよさと課題を見つけ、まとめる。	・ 事前に子どもたちが挙げた地域のよさや課題をまとめ、確認しながら地域探検ができるようにルートを設定する。	○ 地域に関心をもち、地域のよさや課題を再発見することができる。
～ 19 20 ～	○自治会長から地域の情報を収集したり、他地域を訪れまちづくりの情報を収集したりし、自分たちにできることをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会長との出会いを設定し、地域の現状を知ることで、自分たちにできることを提案できるようにする。</li> <li>・ 修学旅行で訪れた施設や自然林の管理者からまちづくりや自然保護の話聞く場を設定する。</li> </ul>	○ 情報収集したことを活用しながら、地域をよりよくするために自分たちにできることを考えることができる。
28 ～ 29	○「フラワーパーク」と「クリーン作戦」の実践計画を立て、実行する。 ・自分たちで実践する。 ・地域住民と共に実践す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花屋の方と出会い、花の特性を知る。</li> <li>・ 自治会長や地域のコミュニティ協議会と連携する。</li> <li>・ 地域住民がかかわりを深められる工夫ができるよう助言する。</li> </ul>	○ 花の特性等を活かして地域住民のかかわりが深まる工夫を加えながら活動することができる。

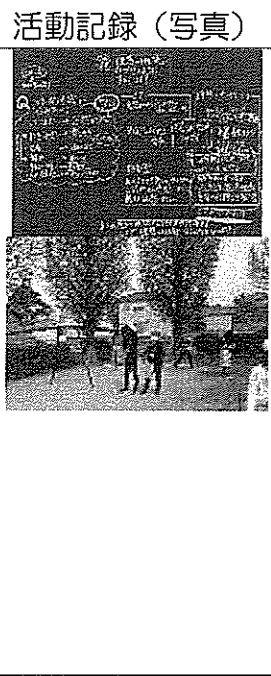

～ 39 40 ～ 43	る。 ○実践を継続しながら活動していることをまとめ、地域に広める。 ・ポスター、ホームページ等を制作する。 ○地域住民がかかわりを深めるために必要なことを、自分の活動から考える。	・地域住民も参加型の活動を企画し、実践する。 ・プロのデザイナーに出会い、ポスターやパンフレットの作り方を学ぶ。 ・ポスター等に活動してきた内容を入れ、景観を守るよさを地域住民に伝える。 ・これまでの「目に見える活動」を価値付け、かかわりを深めるために考えてきた「目に見えないこと」を自覚化できるようにする。	○学んだことを活かし友達と検討しながらよりよいものへとつくり変えることができる。  ○自分の活動を価値付け、内面の思いがまちづくりの形となっていることに気付くことができる。
44 ～ 50	○地域に生きる一員として大切なことを考える。 ・5年生にプレゼンする。 ・これからの生き方の決意	・グループで活動をまとめるよう促す。 ・学んだ技法を活かしながらまとめられるよう助言する。 ・これまでの活動のポイントをキーワードで確認する。	○自分の実践を受け継ぐ方法や地域の一員として大切なことを考え、伝えることができる。

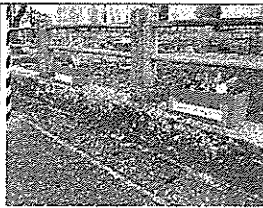
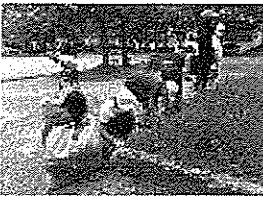

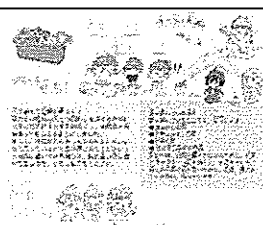


#### <留意点>

- ・グループに分かれての活動となるため、自分が所属しない活動が「他人事」にならないようつながりを意識させられるようにする。そのため、計画を立案した段階で全体検討を行ったり、他グループの計画が自グループにどう影響してくるのかを考える時間を設けたりするなどの工夫を行い、すべての活動が「自分事」となるようにしていきたい。
- ・本活動はSDGs 11「住み続けられるまちづくりを」を中心に、SDGsと複合的にかかわっていると考える。SDGsも意識させながら進めていきたい。SDGsの達成のためには、「目に見えることから見えないことへの気付き」が必要になると考える。単元構成を工夫し、そのようなことに気付き、行動に移すことのできる子どもが育つようにしていきたい。

事業実施報告書詳細

学校名 新潟市立桜が丘小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が住んでみたい理想の地域像を挙げ、今の地域の現状と比較し、よさと課題を分類した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の地域のよさや課題を共有して、住民同士のかかわりの深い、よりよい地域にしたい。</li> </ul>
2	地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に地域探検に出かけ、前時に挙げた地域のよさや課題を確かにした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>花を増やし、植え込みの隙間などにあるゴミを減らしたい。</li> </ul>
1	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい地域にするために「花を増やす」「ゴミを減らす」活動を行いたいと考えた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>花は人の心を癒すから、花のないところに花を置き、花の見栄えを阻害するゴミをなくしたい。</li> </ul>
3	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で活動する内容を自治会長に提案するための資料を作った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長に地域での活動を許可してほしい。</li> </ul>
1	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長に来校してもらい、自分たちの活動内容について提案した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長から提案を一部否定され、活動内容の見直しをしようと考えた。</li> </ul>
5	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの活動の参考にしたいと考え、修学旅行先の上・中越地方での花、ゴミについての取り組みを調べた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に行って見たり、インタビューしたりしたい。</li> </ul>
5	上越中越地方	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に上・中越地方に行き、訪問先の施設等で行われている取り組みについて調べたり、インタビューしたりすることを通して、地域特有の花を生かしたリース作りや地域の人に呼びかけてゴミを減らす活動と一緒にいたりしていることを知った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特色を生かした取り組みが行われていることを知り、自分の地域の地域性を改めて考えたいという思いをもった。</li> </ul>
1	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行先で学んだことをまとめ、発表した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の地域の地域性は「花が多いこと」「自治会でゴミを拾う活動がなされていること」であると考えた。</li> </ul>

3	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の地域の地域性を生かし、花を公園に置く活動「フラワーパーク」と公園のゴミを拾う活動「クリーン作戦」の実践計画を立てた。花は、夏と秋に植えて、ゴミ拾いは毎月行うこととした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>夏だったため、見た人が涼しくなる花や長持ちする花を選択し、地域の多くの人に楽しんでほしい。</li> <li>公園のゴミを拾うことで、過ごしやすい公園になってほしい。</li> </ul>
5	公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ拾いをすると、茂みに大量に捨ててあったり、草の伸びる勢いが凄かったりすることに気付いた。小学生だけではできないと感じた子どもは、地域の人にも協力を呼びかけたいと考え、一緒に活動することを呼びかけるチラシを作成し、自治会長に回覧板で回してもらい、地域住民と共に活動した。</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>きれいな公園になってほしい。</li> <li>みんなできれいにしてほしい。</li> </ul>
1 1	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの活動を広め、花が多く、ゴミのない地域にするために、地域の人に呼びかけるポスターやチラシ、回覧板、ホームページ用の記事等を作成した。</li> </ul>	 <p>やめようポイ捨て 拾おうみんなで</p>  <p>考えよう 使う人の気持ち</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代別によく見る情報源に自分たちの活動を載せることで、地域の人全員で花を増やしたり、ゴミを拾ったりしてほしい。</li> <li>地域の人々の喜びが自分の喜びになり、活動を続けることができたと考えた。</li> <li>5年生に活動を引き継ぎ、よりよい地域が継続するようにしたい。</li> </ul>
7	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生に活動を引き継ぐために、iPadを用い、写真や動画を使ってプレゼン資料を制作した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生が引き継ぎたいと思ってくれてよかった。これからも、自分でもできること（地域の活動に参加、自主的に公園清掃等）を行っていきたい。</li> </ul>
1	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから自分は地域の中でどのように生きるかを考えた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人と協力しながら、地域の人が喜ぶことを行い、地域をよりよくしたい。</li> </ul>

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

- ・子どもの思いを一つにまとめていくことで、「自分事」の意識をもたせるようにした。
- ・当校は近隣に公園が多く、徒歩10分圏内に大小合わせて8か所ある。8か所を巡ることで比較しやすく、地域のおよさや課題に気づきやすかった。さらに、iPadのカメラ機能で風景を撮影し、記録に残すことで振り返りやすくした。
- ・修学旅行へ行く目的の一つとして、他地域の活動の調査を位置付けることで、現地で意欲的に調査活動ができるようにした。
- ・拡散→収束をサイクル化し、繰り返すことで活動を広げていくようにした。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

- ・地域探検の際にゴミを集めながら回ったが、予想以上の量があり、持ち帰りに苦労した。また、分別が大変だった。大量の袋が必要だと感じた。
- ・地域の方と交流をしながら活動をしようと考えたが、新型コロナウイルスの影響があり、計画を変更しなければならないこともあった。

#### (3) 児童の反応

- ・地域探検に出て実際に地域の公園の状態を確認したことで、実感を伴って課題意識を「自分事」にすることができ、「花を増やしたい」「ゴミを減らしたい」という思いをもった。
- ・息の長い活動に取り組むことで、子どもたちは「まちづくり」について長期間考え続けた。その結果、自分の住む地域に誇りを持ち、よりよい地域にするために自分たちの活動を5年生に引き継いだり、今後も考え続けたり、活動し続けたりしたいという思いをもった。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・子どもの思いに寄り添いながら進めることで子どもが「自分事」として活動することが分かった。
- ・息の長い活動を行うことで、子どもは日頃から「よりよい地域」について考えたり、行動したりすることが分かった。
- ・子どもは、自分に身近な「地域」を題材にすることで、地域の方が必要としている情報を理解したり、理解しようと自ら情報を集めてきたりすることが分かった。

#### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・他地域との比較や持続可能な活動にするための方策等について、もっとSDGsとの関連を図りながら行っていくとよい。
- ・子どもの地域への意識を芽生えさせたり、新たな視点を獲得させたりするために、「目に見える活動」から地域に生きる一員として大切に「目に見えないこと」を顕在化していく流れを大切にしていけるとよい。